



共立女子大学コレクション+草葉達也コレクション

宝塚歌劇展

～ 100周年に向けて ～

2013年6月21日(金)～7月31日(水)

9:30～17:30(休館日:日曜・祝日) ※ 入場無料

共立女子大学 神田一ツ橋キャンパス 本館 1F 展示室

東京都千代田区一ツ橋 2-2-1 Tel: 03-3237-2435

アクセス: 都営地下鉄三田線・新宿線・東京メトロ半蔵門線「神保町」駅下車 A8 出口から徒歩1分
東京メトロ東西線「竹橋」駅下車 1b 出口から徒歩3分

宝塚歌劇展

～ 100周年に向けて～

1913年（大正2年）、宝塚歌劇団の前身である宝塚唱歌隊が作られてから100年、第1回公演から数えて100周年にあたる2014年に向けて、すでにアニヴァーサリー・イヤーが始まっています。共立女子学園は、日比谷の東京宝塚劇場と同じ千代田区に位置し、区が進める「千代田学」プロジェクトの一環として、近隣の大学などとも協力して、日比谷における宝塚文化の共同研究もスタートさせました。学生・教職員・卒業生にも沢山のファンがいるばかりでなく、10年以上前から文芸学部において宝塚歌劇をテーマとした授業を連続して開講し、毎公演の観劇会を実施しているという点では全国で唯一の大学といえるでしょう。

このたび、神田一ツ橋キャンパスにおいて「宝塚歌劇と世界の音楽劇」のテーマのもと、日本演劇学会全国大会を開催するのに合わせて、この展示を企画しました。劇芸術研究室の所蔵資料をはじめとして、文芸OGネットワーク、日本一の宝塚コレクターとされる草葉達也氏、元宝塚歌劇団花組で文芸学部講師をお願いしている奈加靖子氏の御協力を得て、

多彩な展示品を御覧にいたします。

今や宝塚歌劇は、現代日本演劇の中で重要な位置を占めるジャンルとなったばかりでなく、世界中の演劇研究者の注目を集めています。戦前から数多くの海外公演を行ない、本年4月の台湾公演の成功も記憶に新しいところです。美しく貴重な品々から100年の歴史を振り返り、未来の発展に思いをいたす機会にしたいと思います。

※ 演劇学会大会に関しては、

<http://www.jstr.org/> を御参照ください。



大正後半 ファンが競って集めた葉



（歌劇日記）

ビロードの装丁が美しい

公演の感想・批評を書く人が多く当時の熱心さがうかがわれる